

エネルギー省、アルゴンヌ国立研究所向け次世代スパコン開発に2億ドル拠出（4月9日）

エネルギー省（Department of Energy）は4月9日、アルゴンヌ国立研究所（Argonne National Laboratory、イリノイ州）に設置予定の次世代スパコン「オーロラ（Aurora）」の開発・設置に2億ドルを拠出することを発表した。アルゴンヌ・リーダーシップ・コンピューティング施設（Argonne Leadership Computing Facility：ALCF）に設置される「オーロラ」の運用開始予定は2018年で、科学目的での利用者全てに開放されることになる。今回の「オーロラ」開発は、エクサスケール・コンピューティング開発における米国リーダーシップの強化を目的とした「オークリッジ・アルゴンヌ・ローレンスリバモア共同（Collaboration of Oak Ridge, Argonne, and Lawrence Livermore：CORAL）」イニシアティブの下で実施されるもので、CORALイニシアティブでは、オークリッジ研究所（Oak Ridge National Laboratory、テネシー州）とローレンスリバモア研究所（Lawrence Livermore National Laboratory、カリフォルニア州）における最新スパコン導入に対して3億2,500万ドルを投入することをすでに発表しており、今回の発表分がCORALイニシアティブの最後の取り組みとなる。

Department of Energy, U.S. Department of Energy Awards \$200 Million for Next-Generation Supercomputer at Argonne National Laboratory

<http://www.energy.gov/articles/us-department-energy-awards-200-million-next-generation-supercomputer-argonne-national>